

「文化的景観」は、地域における人々の生活または生業及び当該地域の風土により形成された景観地と位置づけられています。文化的景観の保護の取り組みは、地域の人びとの暮らしや生業、文化を見つめなおし、地域の持続、活性化につながる可能性を有しています。文化的景観の中から重要とされたものは国の重要文化的景観に選定されます。

平成25年10月、泉佐野市の中世荘園に由来する文化的景観「日根荘大木の農村景観」が大阪府内で初めて選定されました。選定地は全国で38か所となり、各地で文化的景観を活かした様々な取り組みが進められています。一方で、「文化的景観」という名称は未だ周知の途上にあり、特に大阪府内ではほとんど知られていないのが現状です。

そこで、大阪府立弥生文化博物館と歴史館いずみさのにおいて、文化的景観をテーマとしたパネル展を開催し、各地の文化的景観や日根荘大木の農村景観を紹介します。また文化的景観についてのPRと関心を高めていただく機会として、パネル展に合わせてフォーラムを開催します。



集落内の石垣

【重要文化的景観日根荘大木の農村景観】

泉佐野市大木地区は、和歌山県との境を和泉山脈の豊かな自然と和泉地域の伝統的な農村風景が広がっています。一見して山間の農村風景ですが、中世荘園日根荘の時代に由来し、時代の変化に合わせながら、暮らしや生業の中で現在まで緩やかに進化しながら受け継がれてきた貴重な文化的景観です。地区内には大阪南部屈指の観光地である犬鳴山七宝瀧寺や犬鳴山温泉も範囲内に含まれます。

ふるさと の風景を受け継ぐ

文化的景観・日根荘大木の風景



大木地区遠景

ギャラリートーク

日時：3月1日（土） 午前11時から1時間程度

フォーラム

日時：3月1日（土） 午後1時～午後4時

講師：神吉紀世子氏（京都大学大学院工学研究科）

杉本 宏 氏（宇治市歴史まちづくり推進課）

東原 直明氏（泉佐野市教育委員会）

会場：弥生文化博物館1階ホール

参加費：無料（ただし入館料が必要です）

定員：170名

（当日先着順 開館時より整理券配付・開演30分前から受付）



川口 武和氏作品
「山上の寺 大木にて」

【日根荘と日根荘遺跡】

日根荘は鎌倉時代から戦国時代にかけて、現在の泉佐野市域にあった九条家の荘園です。

日根荘は九条家文書をはじめとする絵図や文書が数多く伝えられ、当時の様子がよくわかる荘園として知られています。また現地に当時を彷彿とさせる景観が残され、社寺やため池・水路等が平成10年に「国史跡日根荘遺跡」として指定されました。大木地区でも火走神社や日根荘の領主九条政基が日記「政基公旅引付」を記した長福寺跡などが指定されています。

歴史館いずみさので開催！！ 平成26年 1月9日（木）～2月2日（日）

中世荘園日根荘と重要文化的景観「日根荘大木の農村景観」

日根荘の歴史資料なども展示されます。歴史館の常設展示とともに中世の風景に思いを馳せてみませんか。

シンポジウム「日根荘を語る」

日時 平成26年2月23日（日）午後1時～午後5時

講師 本中 眞 氏（文化庁記念物課主任調査官）

神吉紀世子氏（京都大学大学院教授）

金田 章裕氏（人間文化研究機構長）

対談 コーディネーター 山本浩之氏（フリーアナウンサー）

参加費 無料 定員 170名（当日先着順）

会場 エブノ泉の森レセプションホール

（泉佐野市市場東1-295-1）

開館時間：午前9時～午後5時

（ただし入館は午後4時30分まで）

入館料：無料

休館日：月曜日

会場：泉佐野市立歴史館いずみさの

泉佐野市市場東1-295-1

電話：072-469-7140